

東京CS

しんぶん

《第9号》

- テーマ「陽はまたのぼる」
- テーマ「植物と生きる」
- 第2回長野農業体験合宿



■テーマ「陽はまたのぼる」

(たつツツー低学年クラス) 2005年6月20日～

■日がどういう動きをするか、知っていることを説明してもらいます。「太陽は行ったり来たりしないで、同じ方向に進むんだよ！」■夏至の日の夕方、それぞれの家で太陽が沈む様子確かめるとい宿題を与えられた子どもたち。その結果は、「太陽が沈むと暗くなる」ではなくて、太陽が沈む時間(7時01分)を過ぎても、まだ字を読めるくらい明るかった、ということでした。(まさか電気は消えてたよね・・・)■どうして太陽が沈んでもまだ空は明るかったのでしょうか。太陽が沈んでも空がほんのりと明るいことを、絵に描いて説明してくれました。■太陽はどのような動き方をしているのか、事実を確かめる為に、屋上で日時計を作りました。■日時計の結果をもとにして、太陽の動きを再現します。さあ、はたして謎は解けたのでしょうか。■一年間の「日の出」と「日の入り」のデータを、棒グラフにしてまとめます。日が出ている時間と、沈んでいる時間を2色で塗り分けると、上下から山のようなカーブを描くグラフができてきました。■朝起きて、夜寝て、また朝起きるまでの24時間の間に、自分は何時に何をしているのかチャート形式に書き出しています。意識したことのない自分の生活スタイル?が見えてきたようです。「うわー、けっこう寝てるな・・・」



■テーマ「植物と生きる」

(バンー中高学年クラス) 2005年6月20日～

■葉っぱ、根っこ、茎、枝、種、実、花・・・植物にとって一番重要な箇所ってどこ？バンクラスが一致して出した答えは「種」でした。■種が成長するのに必要なものは？「水！」「空気！」「光！」そうだよね。じゃあ、水、空気、光のそれぞれを与える、もしくは与えない環境を作って、本当にそれがなければ育たないのか、実験してみよう！「どうやって?!」■ハトの餌やりを禁止している妙法寺の前で売っているハトのえさを買ってきました。ハトのえさには数種類の種が含まれています。■「水」、「空気」、「光」を「与える」・「与えない」の条件付きで、種がどう変化するのか・しないのか調べます。はて、さて、何パターンの実験をすれば、すべての組み合わせで実験できるでしょうか。■クローゼットの中に実験用の種をしまい込んで、光を当てない状態にしたり、家から密封できるジップロックをもってきて、真空状態（に近い状態）にしたり、湿らせた脱脂綿の上に種を置いて観察したり、工夫しながら実験を進めていました。■1週間経ち、水に浸した種は随分と変化したようです。調べる前の状態から、どのように種が変化したのか、スケッチにとってまとめました。形はどう変化したのか、色はどうなったのか、細部まで観察して実験記録としてまとめました。



■第2回 長野農業体験合宿

2005年6月7～8日

■鮮やかな黄色のたんぼぼと、植えたばかりの稲の苗を見ながら歩いていると、びっくり仰天な巨大わたげを発見！！■先月植えたなすやとうもろこしは順調に育っているようでしたが、おやおや？大人が楽しみにしている肝心の枝豆の発芽がまばらようです。■何が間違っていたのか・・・、植える間隔が狭すぎたんだ！水が足りないんだ！いささか動揺を隠せない子どもたち。教えてもらった植え方を思い返してみよう！■重要な説明を逃さず聞くこと、そしてチームワークが何より大切！！■地元の方から差し入れていただいた「長野で一番おいしいレタス」を、1/4サイズがぶりとはおぼり、焼き肉をのせて食べます。■長野の瑞々しい豊作物と、人との出会いに感謝をしつつ、次に来るときは、じゃがいもやとうもろこしの収穫だー！と早くも次への期待が高まる子どもと大人でした。



東京コミュニティスクール Tokyo Community School

〒166-0012東京都杉並区和田3-37-5第5鴨下ビル(1F～4F/屋上)
TEL//03-3313-8717 FAX//03-5305-7234 E-mail//school@tokyocs.org
東京CSしんぶん 編集長//市川 力 編集委員//川口 誠

 <http://tokyocs.org/>